

ジョン・ラファージと日光

(1835~1910)

アメリカのステンドグラス復興とジャポニズムのパイオニア

John La Farge and Nikko

The Pioneer of Stained Glass Revival and Japonism in USA

アメリカの超越主義の画家ジョン・ラファージ(1835-1910)は聖なるものを求めて、1886年に3ヶ月日本に滞在した。彼は日光の森に感動して、「ここには偉大なパーンがまだ生きている」と記す。そこに立ち会っていたのが、後にボストン美術館の日本美術コレクションに寄与するフェノロサ(1853-1908)とビゲロー(1850-1926)、そして岡倉天心(1863-1913)であった。ラファージの全く新しいステンドグラスは、この中世趣味とジャポニズムによって成立した。シンポジウムは、まず彼の日光体験から始める。

The American painter John La Farge (1835-1910) visited Japan for three months in 1886, and was deeply inspired by Nikko, writing: "the Great Pan might still be living here." His renowned highly innovative work in stained glass combined this medieval tradition with inspiration from Japanese art, which connects Heaven and Earth. Our point of departure for our discussion will be the consideration of his sensation in Nikko.



JOHN LA FARGE (1835-1910)

"St. John the Evangelist, Christ Preaching, St. Paul" 1889

Opalescent leaded glass, 99 x 31 in. (each)
McMullen Museum of Art, Boston College; Gift of William and Alison Vareika in honor of William P. Leahy, SJ, J. Donald Monahan, SJ, William B. Neenan, SJ, and in memory of John La Farge, SJ
2013.58.1-3



JOHN LA FARGE (1835-1910)

"Evening Study" (Priest's House, Nikko, Japan) 1886

Watercolor on paper, 14 x 10 inches
Private collection, New York; Courtesy of William Vareika Fine Arts, Newport, Rhode Island

入場無料
申込不要

直接会場にお越しください

2018.2.24. 土 13:00~18:00

場所 土樋キャンパス／ホーイ記念館ホール

趣旨説明

鐸木 道剛(すずき みちたか) 東北学院大学教授

パネリスト

有木 宏二(ありき こうじ) 美術史家

Phylis Floyd(フィリス・フロイト) ミシガン州立大学准教授

Katie Kresser(ケイティ・クレスサー) シアトル大学准教授

五味 良子(ごみりょうこ) 埼玉県立近代美術館学芸員

主催：東北学院大学研究ブランディング事業「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

協賛：ジャポニズム学会、日本フェノロサ学会

このシンポジウムを村形明子先生に捧げます。
基調講演をお願いしていました村形明子先生(京都大名誉教授・
元日本フェノロサ学会長)は昨年9月5日に急逝されました。
先生の業績に感謝しつつ謹んで献呈いたします。

In memoriam Akiko MURAKATA (1941-2017)

With respect and gratitude for her support of our symposium with her
advice and suggestions up until her last day in the hospital in Kyoto”



村形 明子氏(むらかた あきこ 1941-2017)

経歴: 1941年札幌生まれ。
1964年東京大学教養学部教養学科
アメリカ分科卒、スミス・カレッジを経て、
1971年ジョージ・ワシントン大学Ph. D
(論文: Selected Letters of Dr. William
Sturgis Bigelow)。
主著: 『ハーヴァード大学ホートン・ライブラ
リー蔵フェノロサ資料』I-III (1982-87)

本学のラーハウザー記念東北学院礼拝堂には、イギリスのヴィクトリア朝のヒートン・バトラー&バイ
ン工房が1932年に制作したステンドグラスがあります。中世主義の産物です。ジャポニズムも中世
主義で、近代批判です。アメリカの画家ジョン・ラファージ(1835-1910)は、ルイス・カムフォート・
ティファニー(1848-1933)とともにアメリカにおけるステンドグラス復興者で、しかもアメリカの
ジャポニズムのパイオニアでした。現実と永遠をつなぐ全く新しいステンドグラスを制作したラ
ファージについての本シンポジウムは日本では勿論、世界でも初めてのシンポジウムです。



ジョン・ラファージ 1860年頃

プログラム

13:00~13:05 松本宣郎学長挨拶

13:05~13:30 趣旨説明

鐸木 道剛(すずき みちたか) 東北学院大学教授

経歴:1974年東京大学文学部卒、1979年東京大学大学院修士(美術史)

主著:『山下りん研究』岡山大学文学部研究叢書、2013年



13:30~14:10 「近代化の中の<外>、その抗うまなざし」

有木 宏二(ありき こうじ) 美術史家

経歴:1995年京都大学大学院修了

主著:『ピサロ:砂の記憶』人文書館、2005年(吉田秀和賞受賞)



14:10~14:50 “John La Farge: Bridging American and Japanese Spirituality”

Phylis Floyd(フィリス・フロイト) ミシガン州立大学准教授

経歴:Ph.D. 1983, The University of Michigan

主著:Japonisme, in Dictionary of World Art, London, McMillan,1997; revised 2012



14:50~15:10 休憩

15:10~15:50 “The World Re-Enchanted: John La Farge and the Lesson of Nikko”

Katie Kresser(ケイティ・クレッサー) シアトル大学准教授

経歴:PhD, History of Art and Architecture, Harvard University, 2006

主著:The Art and Thought of John La Farge, Ashgate, 2013



15:50~16:30 「ジャパン・ミーツ・ラファージ 日本の近代化≡西洋化 世界漫遊家」

五味良子(ごみりょうこ) 埼玉県立近代美術館学芸員

経歴:2008年日本女子大学卒、2010年東京藝術大学大学院修士(美術史)

主著:「ルックウッド・ポタリーのジャポニズム」『東洋陶磁』41号、2012年



16:30~16:40 休憩

16:40~18:00 ディスカッション